

会 議 録	
会議の名称	令和7年度第2回清須市地域公共交通会議
開催日時	令和7年10月16日（木） 午前10時から午前11時45分まで
開催場所	清須市役所北館2階 第1・第2会議室
議題	1 開会 2 議事 〔報告事項〕 (1) 公共交通に関する市民アンケート調査等の実施について (2) コミュニティバスの利用状況の推移について (3) コミュニティバス累計利用者数 100 万人達成について 〔協議事項〕 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について 3 その他 4 閉会
会議資料	会議次第、委員名簿、配席表 〔会議資料〕 資料1－1 公共交通に関する市民アンケート調査等の実施について 資料1－2 市民アンケート調査（案） 資料1－3 利用者ニーズ調査（案） 資料1－4 あしがるバス乗り方チラシ 資料2 コミュニティバスの利用状況の推移 資料3 コミュニティバス累計利用者数100万人達成について 資料4－1 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価の概要 資料4－2 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案） 資料4－3 令和7年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価及び地域公共交通計画の評価結果概要（案）
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数	0人
出席委員	前田委員、林委員、笠原委員、柴田委員、加藤（榮）委員、鬼頭委員、加藤（博）委員、原田委員（代理）、石屋委員（代理）、加藤（純）委員（代理）、有田委員、野田委員、小林委員（代理）、大島委員、福田委員（代理）、鈴木委員、高井委員（代理）、田中委員
欠席委員	山田委員、岡田委員、井上委員
出席者（市）	なし

事務局	(企画部企画政策課) 神野課長、秋山副主幹、岩田係長、蜂矢主任、市江主任 (株式会社日本海コンサルタント) 塩土本部長、備後サブリーダー、小村氏
会議録署名委員	加藤(榮)委員、鬼頭委員
<p>1 開会</p> <p>(岩田係長)</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから令和7年度第2回清須市地域公共交通会議を開会します。</p> <p>私は企画政策課の岩田と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは開会にあたりまして、前田会長からごあいさつをいただきたいと存じます。前田会長、よろしくお願いいたします。</p> <p>(前田会長)</p> <p>皆様、おはようございます。</p> <p>本日は、お足元の悪い中、令和7年度第2回清須市地域公共交通会議へご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>また、日頃、皆様には本会議の運営等に多大なご理解とご協力をいただいております。重ねて、お礼を申し上げます。</p> <p>さて、本日の会議では、11月に予定している公共交通に係る市民アンケート調査等の実施についてと、地域公共交通確保維持改善事業の自己評価が主な議題となります。</p> <p>皆様どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>簡単ではございますが、これで私のあいさつに代えさせていただきます。</p> <p>(岩田係長)</p> <p>それでは本日の会議の出席の状況についてご報告させていただきます。</p> <p>まず初めに、人事異動等により本日の会議から新たにご参画いただきます委員の方をご紹介します。</p> <p>第5号委員、名古屋タクシー協会専務理事の野田俊幸委員でございます。</p> <p>続きまして、第6号委員、清須市企画部長の岡田善紀委員になりますが、岡田委員につきましては、本日は所用のため欠席となっております。</p> <p>続きまして、第7号委員、東海旅客鉄道株式会社東海交通事業本部管理部企画課課長代理の井上雅隆委員でございます。</p> <p>なお井上委員につきましても、本日は所用のため欠席となっております。</p> <p>また同じく第7号委員、JR東海交通事業株式会社鉄道部輸送課長の田中秀明議員でございます。</p> <p>ここまでの新たな委員の方のご紹介になりますが、続きまして欠席の委員、また代理出席の委員のご報告です。</p>	

まずは第 1 号委員の山田委員が本日欠席となっております。

続きまして代理出席の方になりますが、第 3 号委員、国土交通省中部運輸局の原田委員におかれましては、山田様に、また第 4 号委員、愛知県都市・交通局、石屋委員におかれましては、津崎様に、同じく第 4 号委員で、愛知県尾張建設事務所加藤委員におかれましては、壽賀様に、また第 5 号委員、愛知県バス協会の小林委員におかれましては、徳田様に、同じく第 5 号委員のつばめユニオン福田委員におかれましては、太田様に、第 7 号委員、名古屋鉄道株式会社の高井委員におかれましては、夫馬様に、それぞれ代理でご出席をいただいております。

加えて事務局といたしまして、本日の報告事項（１）で議題としております、公共交通に関する市民アンケート調査の実施について、アンケート調査業務に携わっていただいております、株式会社日本海コンサルタントの塩士様、備後様、小村様に、本日はご同席をいただいております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。。

それでは、これより議事に入りますが、ここで、事務局からお願いがございます。

当会議の議事録を作成するため、会議でのご発言にあたっては、次の 2 点についてご協力をお願いいたします。

まず 1 点目ですが、ご発言にあたっては、必ず挙手の上、会長の指名を受けてください。

2 点目ですが、会長の指名を受けた委員様には、係の者がマイクをお持ちいたしますので、その都度、ご自身のお名前を仰っていただいてからご発言くださいますよう、お願いいたします。

それでは、ここからの進行は前田会長にお願いいたします。

2 議事〔報告事項〕（１）公共交通に関する市民アンケート調査等の実施について（２）コミュニティバスの利用状況の推移について（３）コミュニティバス累計利用者数 100 万人達成について

（前田会長）

それでは、ここからは私の方で会議の取り回しをさせていただきます。よろしくお願いします。

まず、はじめに 会議録署名委員を指名したいと思います。

本日の会議の会議録署名委員は、加藤委員と鬼頭委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、本日の議事に入ります。

本日の議事につきましては、お手元の次第のとおり、報告事項が 3 件と協議事項が 1 件です。

まず次第の順に報告事項から議事に入っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは報告事項（１）につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

（蜂矢主任）

【資料 1 を説明】

(前田会長)

ありがとうございました。

それでは、この報告について、ご意見、ご質問等がございましたら、挙手をお願いいたします。

(鬼頭委員)

鬼頭です。

2点お尋ねしたいんですけれども、まず資料1－2の依頼文のところに無作為抽出して、2000人抽出とありますけど、なぜ層化抽出にしなかったのか、それぞれのクラスターがどういう意向を示すかってのは無作為抽出だと出ませんよね。もうちょっと細かい調べ方をしてほしいです。

それから次のページの1ページですね、最初にお住まいの郵便番号って書いてありますね。郵便番号なんて書いちゃうと、家が特定されちゃいます。これ、プライバシーの侵害になるんじゃないか。

無記名で書くのであれば、よくいろんなところのアンケートで出てますけど、下2桁は書かない。郵便番号の7つ分の穴があいてて、そのうちの下2つについては××がついてるという、そういう方法で、プライバシーを守ると言うことを言ってるんですが、これもまともに言えばわかっちゃいます。なぜそういうふうにして、結果的に無記名であるにもかかわらず、個人住居が特定できる形にしたのかっていうこと。

それからもう1つこれは3つ目、あんまり直接関係ないんですけども、この調査を行うのが株式会社日本海コンサルタントですね、なぜ営利企業である株式会社と指定してるのか。ここに至るまでに、競争入札を行ったのかと。その辺の不透明さってのも肝心ですね。何か裏で癒着があったんじゃないのかなって。外側から人間から言うと、感じてしまいます。

多分これを受け取った人、住民ほとんどみんなそうじゃないかと思うんですよ。返送先についても市役所に対して返送するというならいいけど、何でよりもよって株式会社なんだと。営利企業みたいないい加減なところに出せるかという、そういう意見を持った市民が多いんじゃないかと思うんですがいかがでしょうか。

以上3点です。

(市江主任)

事務局の市江です。よろしく願いいたします。

まず1点目の抽出方法につきましては、偏り等が生じないように、こちら今回小学校区別で、男女・年齢の偏りがないような形で抽出の方を行っていきたいと考えております。

また郵便番号につきましても、前回の令和5年の際にも同様のご意見いただいたかなと思うんですけれども、結論申しますと、郵便番号を聞く理由といたしましては、最後集計する際に地域別に統計がとれますように、クロス集計ができるような形で郵便番号を聞かさせていただいております。なお下2桁は書かせないっていうご意見も前回もあったかな

と思うんですけれども、清須市は「09××」と「00××」しかないということから、下2桁のみですと、地域ごとの特徴を得られないというところで、聞かせていただいております。

なお依頼文のところに、いただいた意見は統計処理のためのみに使用するというところを書かせていただきまして、これでご理解いただきたいなと思っております。

また最後の今回協力していただいている事業者についてですけれども、ご説明のところで詳しい説明が抜けておりまして失礼いたしました。今回は事業所特定するにあたって、総合評価型プロポーザル方式によって事業者の方を選定させていただきました。また、このプロポーザル審査につきましては、ここにいらっしゃる会長の前田委員、副会長の加藤先生、監事でいらっしゃる山田委員にも評価委員として入っていただいて審査を行い、決定した業者になりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

(鬼頭委員)

市の回答に対して、私の方ではもうそれ以上期待はしません。

(前田会長)

他に委員さんよろしいでしょうか。

(高井委員 (代理))

名古屋鉄道の夫馬でございます。よろしくお願いします。

私のほうから、資料1-4のあしがるバスの乗り方についてなんですけれども、今ホームページの方でも乗り方というのは掲載がされておるんですけれども、このうち②のところ、「バスに乗るときに、乗り継ぎをする場合はその旨も伝えください」というふうに今回書かれております。

これ実は、今ホームページに掲載のものも同じようなことが書かれてるんですけれども、ホームページの方には「その旨をお伝えください」の下に「運行に遅れが発生した場合可能な限り乗り継ぎができるよう、乗り継ぎ先のバスで無線で連絡し、時間調整を行います」というのが記載されております。

これを今回の案としてこの乗り継ぎの調整のことを削除した理由をちょっと教えてもらいたいと思います。
よろしくお願いします。

(蜂矢主任)

このチラシの見やすさも考えまして、ちょっとこのスペース的な理由で削除したということで、その点をお伝えすること自体を必要ないことと考えてるわけじゃないんですけれども、そういった理由になります。

(高井委員 (代理))

ひょっとすると、乗り継ぎ券がもらえるんじゃないかなとか、そういうふうに勘違いをするのかなと思ったもんですから、他のところだと乗り継ぎする場合には乗り継ぎ券を差し上げて、例えば100円で2区間

乗れますよと。ただあしがるバスはそうではないので、なんでこの乗り継ぎをわざわざ言わなきゃいけないのと、何かお客様が期待してしまうような感じにとられると思うので、そうではなくて、ちゃんと特に市役所が結節点として重要なところだと思いますので、そのところでバスが待つか待たないかっていうことを考えてますよっていうところだと思って、私は今回ホームページの方には書かれてるんだろうというふうに思っておりますので、もう1回ちょっとご検討いただけたらなと思っております。必要な事項だと私は思いますので、よろしくお願いします。

（前田会長）

事務局の方、そのようなご意見がありますので、一度ご検討の方お願いいたします。

（高井委員（代理））

あとそれから今の資料1－4で③なんですけども、バスを降りるときということで、降りるバス停のアナウンスが流れたら降車ボタンを押すというふうに書いてあるんですが、今日私はあしがるバスで来たんですけども、たまたま代車が来まして、当然その降車ボタンがないもんですから、降車ボタンがない場合もございますというのを入れておいた方がいいのかと思いました。

（加藤副会長）

名古屋大学の加藤です。何点かありますけど、まず1－3のあて先ですけど、これはもう本当に一瞬でちょっとまずいと感じました。

日本海コンサルタントについての記述は他にないと思うので、何でここになってるのか。そうすると詐欺みたいなものだというふうに思う方が多分多いんだろうなと。私自身もこういうの見たら必ず宛先を見ている、宛先が市役所だったらいいんですけど、全然訳のわからないコンサルとかだと、出さないととなりますんで、名古屋大学でも我々も業者さんに委託してやることもあるんですけど、その場合でも名古屋大学宛てにして、適宜会社の方にお送りするとか、取りに来ていただくとかしています。そうでないと回答率は下がるんじゃないかと、特に真面目な方は下がるというふうに思います。そこは注意して欲しいなと思います。

あと郵便番号の話が出ました。これもいつも迷うところで、前回も議論があったということですけど、郵便番号にするのか地図を出してメッシュに縦横に切って、あなたの家はその中の何番に当たりますかみたいな。そういうやり方をするとところもある。

特に郵便番号が細かいところだと、清須の場合は、字とかのレベルで振ってありますかね。西枇杷島とかだと。そうすると本当に細かいんで、嫌だなんて思う方もいるということであれば、メッシュで指定するってのもあり、ただわかんないという人もいるかもしれませんが、大体この辺だっというので書いてもらえばいいので、この辺ももちろん今どこに住んでるかっていうのがわからないとかなり調査としてはレベルが下がってしまう。旧町でいっても清須の場合狭いところで、その中で4町であったらほとんどどこに住んでるかっていうのは意味をなさない

ということなんで、もうちょっと細かく欲しいんですけど、もし郵便番号のところが問題であるとしたら、今のようにメッシュを切ってやる手もあるんじゃないかと思いました。

メッシュじゃなくて、もういわゆる学区で書くとかね、そういうのもあるかもしれませんが、やっぱ学区もあしがるバスのこの運行のことを考えたときにちょっと広いですよ。ということなんで、もうちょっと細かく、私が調査するとしたら欲しいなと思うんで、ちょっとそこはこうじゃなきゃいけないとまでは言わないんですけど。

それで回答率下がってもよいとするか、それともサンプルをとにかくとった方がいいのかだけど、住んでるところはちょっとあやふやというのがいいのかっていう、そこはちょっとかなり専門的なところとか住民さんがどういうふうと思うかっていうところもあるので、もうちょっと議論したほうがいいかなと思いました。

それから、抽出ですね。層化抽出してても無作為って書くことが多いと。層化って言ってもわかんないので、そうすると層化だと説明しないといけないと。層化ってのは、この男女だとか年代とか住んでるところとかによって、特に少ないところだったら、無作為だと少ない数しか受けられないんで、やっぱりそれぞれの地区だとか、それぞれの年代とかで、何人以上いないと、ちょっとそこの部分だけのアンケート結果では、この例えば 60 代の旧清洲町地域に住んでる人とか、それが 5 人ぐらいしかないとかってなると 5 人で代表するってちょっとできないことなんで、そういうのを確保するために、そういうところからはちゃんと 20 人取るとかそういうふうにするということ saying してるわけですけど、ここではそういうふうにあなただけ何かこういう人だから、特別に取ってるわけじゃないですよ。偶然じゃないんだけど本当の偶然じゃないんだけど、あなたを特定したとかそういうことじゃないよっていうことを言うために無作為抽出って言ってるのかなと思いますので、ただ今の層化の話は全然どこにも書いてないっていうか、資料 1-1 に書いてないですよ。これはもしこのアンケートに疑問を持った人がいたら、ちゃんと清須市のこの会議の資料見たら、そういうふうになってるというふうを書いてとくと大事なところですよ。受け取る方は自分が確定されてるわけじゃないっていうふうにして、我々的にはそうだし、だけど、サンプル数はそれぞれの層で確保するっていうことをやってることがわからないとさっきのご質問なんだと思いますので、この資料 1-1 になんでそこを書かないと思ったと。

そこからすると 2,000 っていうのは妥当なのかとか、何かこのアンケートのことをちゃんとここで説明するんだったらそういう基本的なことは書いてもらわないと。

あと、2 週間の期間で大丈夫かどうかっていうのはちょっとやや短いかもかもしれないなと思ったんですが、そこはなんかスケジュール的には、この感じだと 3 月に結果報告すればいいんで、そうめちゃくちゃ急ぐ必要もないように思ったんですけど。それなのか、2 週間ぐらいでやらない人はもう全然答えてくれないんで、そのぐらいで大体早く出してくれる人は早く出してきて、締切意識する人が少ないんでこれでいいとか、これはコンサルさんのご判断だと思うんですけど、そこはちょっと確認

しておきたいと思います。

あとはちょっと事業者さんとか、今名鉄さんお話されましたけど、これを機会に何か事業者さんとしてこういうことを知っておきたいってことを言っていただと、市のアンケートでその事業者がこれを知りたいから取るっていうのは、それは駄目なんですけど、それについてこの会議としても有効なものだったら取り入れたほうがいいと思うんです。そのためにこの会議でかけていると、他のとこだったらアンケートをかけないところもあるんですよ。なのに、こうやってかけてるってのは何かと言うと、こういうことも聞いたほうがいいんじゃないとか、こういう質問だったら私答えられないとか、そういうことをここで明らかにして、さっきのだから、例えば日本海コンサルタント行きだったら、僕だったら、僕は日本海コンサルは信頼してるって言っても、一応住所とかも調べたりするかもしれませんね。そんなことをやる人はいいけど、もう最初から清須市って言うてんのにとかね、そういうのは今言っていたんで止めることができたと言って言うかと止める可能性ができたといえるんで、そういう意味でここに協議事項ですよこれ。あ、報告事項か。では変えないですか。以前は協議事項でなかったでしたっけ。

（市江主任）

事務局の市江です。

例年っていいですか、前回前々回も報告事項で挙げさせていただいておりましたので、報告事項として取り扱いさせていただいたんですけど、出た意見につきましては、再度検討して、反映できるものは反映させていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

（加藤副会長）

報告事項である場合も、協議事項である場合も、全く言わない場合もありますので、これでないといけないってことはないんですけど、報告事項でも言いたくなっちゃうので、今のように問題点が出てきたら検討していただけるといいなということをちょっと思いましたし、ちょっと繰り返しになるんですけど、ここの委員とか事業者の皆さんに聞いてないでしょ。こういうのを聞いたらどうですかみたいなのはこの場ですよ。なんでこの場で今思いつくことあったら言ってもらったら。もちろん分量的にこれ以上入らないと、そういうことはあるんですけど、そこはもし、皆さんここのところに追加したりとか、こういうふうにしたらどうかってあったら言っていただいたらいいんじゃないかなと思いました。以上です。

（大島委員）

つばめ自動車の大島です。よろしくお願いします。

先ほど出ましたバスの乗り方についてなんですけれども、ここに運賃箱 100 円を入れるというふうに書いてございますが、現状キャッシュレスの PayPay が使えるようになりましたので、そのこともちょっと書き加えていただきたいと思います。

ちなみに今までの実績とか、ご報告させていただいてよろしいでしょうか。使い方なんですけれども、PayPay を使ってみえる方はご存じだと思いますけれども、こういった QR コードをスマートフォンで読み取ると金額がもうすでに入っておりますので、決済されるような仕組みになっております。

昨日までの実績なんですけれども、大体 1 日に 2 件か 3 件、ご利用がございまして、現状で決裁金額としては 4,300 円ご利用いただいて、これがちょっと増えてくるような気がしております。
今のところ、以上です。

（高井委員（代理））

今の加藤教授の方から事業者としても何かということで、私ども鉄道会社としては、やはりバスからの乗り継ぎ結節点ということが非常に大事なのかなというふうに思っております。

当然この質問の中にも、鉄道バスの乗り継ぎやすさの改善でどういうものがありますかと言ったようなことも当然あるんですけども、その 3 ページのところにまず乗り継ぎ点の改善で駅名が括弧であるんですが、多分 1 駅とは限らないと思います。例えば 2 駅、3 駅ひょっとしたら書き足りないのかなという方もいらっしゃるかもしれませんので、このスペース的なところもあるんですけども、もしこれ 2 つ以上もしくは 3 つ以上の駅が書きたいなと思ったときに、今度 4 ページの上のところは、どれを改善して欲しいのかと言ったようなことが繋がらなくなってくるので、紙面的な制約もあると思うんですけども、結節点というものを非常に重要視しておりますので、そのあたりちょっとご検討いただければなと思います。以上です。

（加藤副会長）

20 歳以上っていうのは、理由がありましたっけ。

もう未成年は聞かなんでいいと。未成年って言っても 18 歳以上は選挙権がありましたね。というのは子供って僕は重視しているんですよ。別に 20 歳以上だから分別があるとかそういうこともないし、中学生だって高校生だってむしろ彼ら車は自由に乗れませんので、そういう方があしがるバスに乗る、土日走ってるから乗るっていうことは考えられるけど、もしかすると、彼らはこれはもう別に我々が乗るようなもんじやないと思ってるのかもしれないと。

もしかするとこれとは別にその学校とかでアンケートを取った方がいいのかもしれませんが、これ最初から 20 歳以上っていうやっているとところはもう子供は全くお前らの意見なんか聞かなくていいという、そういう態度だと思いますけれども、そういうのがよくないかな。どうですか。

（小林委員（代理））

バス協会でございます。

資料 1－3 のところでですね、Q4 で今回の乗車のあと、乗換えがある場合の利用交通機関ってあるんですけども、これ逆に鉄道等からバスに

乗り換えてくる人もあると思いますので、乗車の後と決めずに前後という形に拡大してもらった方がいいんじゃないかなというふうに思います。もしくは前なのか後なのかっていうのをちょっとわかるような形で記載していただくということはいかがでしょうか。

（蜂矢主任）

今ちようだいしたご意見も含めまして、アンケート調査の方も含めてニーズ調査の方を変えられるところはちょっと変えていくように検討させていただきたいと思います。

（野田委員）

タクシー協会の野田でございます。よろしくお願いします。

資料１－２の最後の４ページでございますが、問５の公共交通を利用したくなる取り組みについて、５－１はあしがるバスの関係で、５－２がその他の公共交通を利用したくなるための取組等、該当するところに○をとというような質問なんですけれども、これアンケートを作成される際に、公共交通事業者のタクシー業者さん、地元のそういった事業者さんの方から何かお声は聞かれてるんでしょうかっていう確認とですね、もし聞かれてこういう内容ということであれば、それはあれですけど、ぜひお話を聞いていただけないってことであれば、ちょっとお話を聞いていただいて、そういったタクシー事業者の意見も是非とも反映いただければと思います。

（蜂矢主任）

企画政策課の蜂矢です。

１点目につきましては、アンケートを作成するにあたって、タクシー業者の皆様のお声を聞くことはしていないという現状です。

２点目ですけれども、その他という欄がありますので、もしそういう思いがある方については書けるようにはなっているんですけれども、前の具体的な１から５の設問については、前回の踏襲もしくは前回の踏襲がふさわしくないというところはこちらの判断で設問を変えさせていただいたので、お願いいたします。

（福田委員（代理））

つばめユニオン、福田の代わりの太田でございます。現場からの代表としてちょっとご依頼があります。

資料１－４の、運賃１００円を入れる下の米印の方に乗り継ぎごとに乗車料１００円が必要です。これですね、現状、ほとんどの乗務員としては１日券をおすすめしていますので、１日券がお得ですとかそういう文言があれば助かります。

（原田委員（代理））

愛知運輸支局の山田でございます。

先ほどの加藤先生の話とかぶるんですけど、アンケートの対象年齢を２０歳以上に絞ったっていうところについて、その未満の方々の利用

ニーズであったりとか、意見というものをどういうふうにかこのアンケート以外の形でもいいんですけれども、どういう形で収集したりとかですねそういうところの利用ニーズについて、今後どういうふうな対応をしていこうと、情報収集も含めてですね、対応していこうと事務局としてお考えなのかっていうのを改めてちょっとお伺いできればと思います。

（市江主任）

事務局の市江です。

こちらの対象年齢につきましては、こちらは前回の踏襲といたしまして20歳以上とさせていただいているところでございますが、いただきましたご指摘はご最もだと思いますので、子供たちのご要望ですとかご意見につきましては、今回こちらのところで取れないこととなりますが、その代わりになるかわかんないんですけれども、市の考え方といたしましては、祭りでPRブースを毎年出しておるんですけれども、そちらでアンケートブースも出しておりまして、そこですと子供連れが主に多い会場になりますので、そういったところで例年子供たちもそのアンケートを書いてくれるっていうところもあるのでそういったところで子供たちの意見を反映できたらなというふうに考えております。

（前田会長）

他によろしいでしょうか。

これをもちまして報告事項（1）は終わりたいと思います。

続きまして、報告事項（2）と（3）につきましては、一括して取り扱うことといたしますので、よろしくお願いをいたします。

それでは事務局から説明をお願いいたします。

（市江主任）

【資料2、3を説明】

（前田会長）

ありがとうございます。

それではただいまの報告につきまして、委員さんから何かご意見ご報告がありましたらお願いいたします。

（野田委員）

名古屋タクシー協会の野田でございます。

ご説明ありがとうございます。資料2のルート別の利用状況で、オレンジルートの利用者数が伸びているということで、ご説明の中でさわやかプラザと創造センターのお話があったんですが、もう少し詳しくなぜこの2つの施設が増えたのか、例えばさわやかプラザですと私の勝手な想像なんですけど、ご高齢の方が訪れていただくようないろんな催し物とか、そういったような理由があるのかなという風に想像したんですけど、ちょっともう少し詳しく教えていただけるとありがたいです。

それから、どれぐらい伸びているのかっていうのも、もしお分かりでしたら教えていただければ幸いです。

(市江主任)

事務局の市江です。

こちらの西枇杷島地区の増加に関してですが、運行事業者の方に確認いたしましたところ、この伸びている要因の1つの可能性といたしまして、ここ最近、創造センターですとかそういったところで、1日に何回も2回も3回も、1日乗車券を使って乗られるヘビーユーザーの方が増えたようで、その影響で、この利用者数がぐっと上がっている状況であると考えております。

なお、どれぐらい増加したかと言いますと、創造センターですと去年に比べて70%増となっております。さわやかプラザの方は、60%増となっております。この増加の要因ってというのは、特にその施設で何か催し物が増えたとかそういったことはこちらの方で把握してないので、ただ周辺に住まわれてる方がよくヘビーユーザーとして使われるようになったというふうに考えております。

(大島委員)

つばめ自動車の大島です。

オレンジルートのお客が増えているということなんですけれども、乗務員の方に確認したところ、全く新規の方が乗るようになってきたと。特に今はバス停が「西枇杷島花咲」に変わってますけれども、それから先の細いところですよ、下小田井駅とか、或いは大和郵便局、あの辺りで新規の方で二、三人って言ってたかな、ちょっとその人数までは確認できてないんですけれども、新たなお客様が乗られるようになったということで、そのお客様が結構その1日に清須市内を移動されることが多いと聞いております。以上です。

(柴田委員)

市民委員の柴田孝子と申します。よろしく申し上げます。

コミュニティバス100万人達成の件ですけれども、お祝いメッセージが305件もあったということで、とてもよかったと思います。あしがるバスに携わる人の苦労も多少は報われたかなと思いますし、このように皆様方の意見を直接聞ける機会はとても貴重だと思います。これからも頑張ってください。

(福田委員(代理))

つばめユニオン福田の代わりの太田と申します。

ブルールートなんですけれど、これちょっと顕著的に数字が増えている要因としては、おそらく春日美術館で特定の展示が始まっているということで、サクラはそんなに大きく増えてませんけれど、特にブルーは乗られることが非常に多くなって、それでこの数字がちょっと顕著的に出てるのかなと思います。

(加藤副会長)

ブルーとの増加は、今の話だと一時的な要因ってなっちゃうとちょっ

とつらいところなんですけど、僕が聞いた話だと、トヨタ自動車大学校が今留学生が増えてきてると言うこととか寮にも増えてると言うことなんですけど、そういうこと聞いてるんですけど、外国人のそういう方っていうのは、車は使わない、まあ自動車大学校なんか本来やっぱ車好きな人たちが行ってるわけなんですけど、そういう人達に車は使わせないという感じなので、例えば土日とかに遊びに行くとかそういういう使ってくれる可能性があるのかなとちょっと思ったんですけど、何かそういう外国人が結構このあたりで利用が増えてるとかそういう傾向は見られませんか。

（福田委員（代理））

トヨタ自動車大学校に関しましては、学生さんが利用されることは今までも多いんですけども、留学生も多少は増えてますね。

ただ他にもこれ増えた要因としましては、宮重町で以前ラウンドワンの利用が多いということもあったんですけど、あとこの付近の勤務労働者が帰りに利用するっていう方もいらっしゃるんで、増えてるんじゃないかと思います。

（加藤副会長）

いや、以前からラウンドワンはね、そんなに近くないから、ラウンドワン自体はシャトルバスありますよね。

（福田委員（代理））

労働者や勤務者が多いです。周辺の工場、清須市ではなくて、隣の一宮市に会社とか工場とかが多いですので、そこから乗って清洲駅に帰る人とかはいらっしゃいます。

（加藤副会長）

ここに直接関係ないんですけど、春日のところと一宮の丹陽、それかた下津や岩倉の南西側、この辺は非常にそれぞれの市とかなんだけど、全体として全然公共交通としては整ってないところになっていて、なのに工場とかいろいろ多いんで、特に稲沢駅東口が問題だと以前から思っているんですけど、僕一宮の委員なので一宮のほうでも、今例えば丹陽線というのが、ちょうど名岐バイパスの下のちょうど境ぐらいなんですけど、稲沢駅東口まで伸ばせるかどうか検討したりしてと言う事で、そこまで別にそれが春日まで来るってことは全く考えてないんですけど、あの辺そういう今岩倉市さんも、そこから稲沢駅に行くとか、そういうことをちょっと考えてるような感じなんで、春日自体がこの循環が1時間に1本で、そこそこ分かっていれば使えるっていうことになると思うんですけど、さらに今のようないちと北とかの方の状況も変わってきてそうな感じなんで、その辺って清須市さんの的には何かこの情報交換とかそんなこととしてますかね。初耳ですか。

（市江主任）

ちょっと初めて聞く情報になります。

(加藤副会長)

何か岩倉市は本当に何とかしたいって考えてるので一番動きがいい感じですよ。そうすると稲沢駅行けばあんまり清須と関係ないともいえるけど、もうちょっと南側の方とかも考えるとすると、春日がかかってくるんでどうかとか、そういうことになってくるかもしれないんで、私自身もちょっとウォッチしていきますけど。当然必要に応じてこの辺は伸びる可能性が今の外国人の動きとかも含めてあると思ってますので、ちょっとどっかで調査するとかそういうことも必要かなと思っておりますけど、そういうことだけここに留めておいていただけるといいかなと思います。何か皆さんも情報あれば伺いたいかなと思います。

(前田会長)

他にないようでございますので、報告事項がこれで終了いたします。

2 議事〔協議事項〕令和7年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

(前田会長)

引き続きまして、協議事項に関する議事に移りたいと思います。

今回の協議事項は、令和7年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価についてを議題といたしますので、事務局から説明をお願いいたします。

(市江主任)

【資料4を説明】

(前田会長)

ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局からの協議事項の説明につきまして、委員さんから何かご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

(原田委員(代理))

ご説明ありがとうございます。愛知運輸支局の山田です。

資料の4-2の方の記載内容について少し確認したいんですけども、資料4-2の⑤の目標効果達成状況という中央に書いてある項目があるんですけど、ここの利用者数のパーセンテージそれぞれのルートで前年比何%って書いてあるんですけど、このパーセントが目標や実績の方の上の方に書いてあるパーセントと若干違ったりしていて、先ほど資料2の報告事項でいただいた利用者数のパーセンテージとも若干数字が異なってるってことなんですけど、ここら辺のその数字の違いっていうのは、なぜこういう感じになってるのかっていうのを確認したいというのが1点と、あとこの資料の一番下のところにブルールートも同じような形で、一番最下段のところに書いてあるんですけど、ここのところの令和6年度は前年度比で123%とかっていうことで、これ前の令和6年

度の報告のやつがそのまま残ってるだけなんじゃないかなというこおで、パーセントも年度もちょっと違うので、この辺りの記載は多分修正していただいたほうがいいんじゃないかなというふうに思います。
以上2点について、お願いします。

（市江主任）

まず1点目のご指摘につきましては、資料を作る上で、当初8月末時点のもので作成していたため、資料4-2の分析、各ルートごとの分析のところに書いてある数字については、8月末時点のものになっておりますので、正しくは上の利用者数という項目に記載のあるパーセンテージが正しいものになりますので、こちらの方修正させていただきたいと思います。

また2点目のご指摘についてもご指摘通りで、昨年のもものがそのままちょっと残ってしまっている状況となっておりますので、こちらの部分は削除させていただきたいと思います。

（田中委員）

J R 東海交通事業の田中と申します。

1点ご質問なんですけれども、9ページ目の現状の課題のところ、定員超過があったということなんですけれども、これはどのルートで発生したのかということと、あと発生したときってというのは、何かイベントがあった日なのか、そうじゃなくて、特に通常の日で発生してしまったのかっていうところを、ちょっと気になりましたので教えていただけないでしょうか。以上です。

（市江主任）

事務局の市江です。

まず1点目のどのルートかについてなんですけれども、まずあしがるバスは今4つ、オレンジ、グリーン、ブルーがハイエースのワゴンタイプのもので、サクラルートについては、中型バスになっておりまして、その定員超過の可能性があるのは、オレンジ・グリーン・ブルーのハイエースで、定員が10名となりますので、10名を超えてしまいますと、追走タクシーという対応になっております。先ほども利用状況というところで少しご説明しましたが、ブルーが今利用者数がすごい増えている状況で、最近ですとブルーの定員超過が増えている状況となっておりますが、以前まではグリーンルートが多い状況ではございました。

また、追走タクシーが出るときなんですけど、もちろんそういったイベント、つい最近もお祭りがございましたが、そういったイベント事がある際は、やはり乗られる方も多いのでそういう可能性が増えるんですけれども、普段のときも午前中ですとか、人々がよく動き出したり、帰ってくる時間帯でちょっと利用者の方が集中してしまいますと、定員超過が起こるという状態になっております。

（田中委員）

ちなみに年間どれぐらい発生してるものなんですか。

(市江主任)

事務局の市江です。

年間でいきますと、昨年度の実績ではございますが、94 台のタクシーを定員超過のため配車している状況となっております。

ただ、令和元年度が 180 台ぐらいでしたので、徐々に減ってはきているものの、今後また増えていく可能性もあるので、状況は注視していきたいと考えております。

(田中委員)

余りに多い場合はもうちょっと大きな車に変えるとかそういう予定はあるのでしょうか。

(市江主任)

事務局の市江です。

オレンジ、グリーン、ブルーがハイエースで運行しているということについても、もともとは走るルートが限なく走れるようにと設定しておりますので、どうしても生活道路ですとか細い道を通ることもあって、なかなか大きい車だと通れないっていう現状がございます。

ですので、すぐ車両を大きくするっていうことが難しいので、そういったところは、また今後のルート・ダイヤ改正の際に、議論していけたらと思っております。

(高井委員 (代理))

名古屋鉄道の夫馬でございます。よろしくお願いいたします。

この今記載のところのご質問ではないんですが、計画の中の目標 6 のところに地域公共交通サービスに係る情報提供の充実という目標がありまして、その達成指標の中に、鉄道バスに関する情報提供というものがございます。

その部分の実施というのが令和 7 年度ということで実施というふうに書かれておるんですけれども、具体的に何かお考えがあるかということをお聞きしたいのですが。

(市江主任)

令和 7 年度実施となっておりますが、今現時点のところでは何かで実施したというものはございません。

また今後祭りですとか、そういったところで交通事業者さんからも情報提供いただいて、PR できることがあれば、一緒に発信していきたいとも思っておりますので、できることから何かしていきたいとは考えております。

(高井委員 (代理))

ありがとうございます。

私どもは実は一宮が一宮市の方でもやっているのが、駅にコミュニティバスの乗り場はこちらと、いったようなパウチをしたものになるんで

すけども、そういったものを駅の方でちょっとご協力しているところがございますので、特に清須市でいきますと、下小田井駅、それから二ツ杵駅、須ヶ口駅、新清洲駅、この4つを私としては結節点というふうなちょっと二ツ杵はちょっと離れてるんですけども、結節点というふうに考えておりますので、そういったところに市の方でご案内版をA3ぐらいで結構ですのでパウチで作っていただいて、そこで弊社の駅、二ツ杵なんかですと上下、北と南がありますけども、それ以外は大体1ヶ所、まあ下小田井駅は2ヶ所あるんですが、そういった形で何か作成をしていただければ、少しでもコミュニティバスがありますよと、あともう1つ、例えば来訪として市役所に来られる方、多分新川橋から徒歩なのか、車で来てしまうのかということなんですけども。仮にそれが須ヶ口から当然バスも出ておりますし、二ツ杵も出ておりますし、全部出ておりますので、そういった清須市役所方面のコミュニティバス乗り場はこちらみたいな言葉を使ってもらっても結構ですし、あとそれから新清洲駅に関しましては、せっかく清洲城西というバス停の名称変更もございましたので、ぜひ来訪者の方に清洲城に行くには徒歩だけじゃないよと、バスもあるのでいかがですかみたいな感じで、そういったご案内版を作っていただければ、弊社としても協力したいなというふうに思っておりますのでよろしくお願いいたします。

（加藤副会長）

今夫馬さんおっしゃったのは、玉ノ井駅のことですかね。

玉ノ井駅の場合は一宮のiバスって言いますけど、玉ノ井駅東ってなっていて、ちょっと見えない位置に、駅からお互いに見渡せない、交差点曲がったところにあるので見えないということで、実は迷われる方がいるということもあって、お互いにバス停に駅の位置もわかるようにして、駅の方にバス停の位置がわかるようにとそういうふうになっていると、いうことですので、それやるだけでもここはこの駅と近いので、どっち使ってもいいなとかね、そういうことにもなるので、お互いにやるといいんじゃないかなと思いました。

特に新清洲は北口南口西口東口問題が、どっちがどっちというそれちょっと何としてでも統一してほしいですが、あれもどっちがどっちかわかんなくて、どうなのってなるんで、それこそきちんとどっちがどっちでしたっけ、名鉄さんが西東でしたっけ。

（高井委員（代理））

弊社が東口と西口で、バス停の方が北口と南口で、もし弊社の方が北口と南口にすると、北口というのは国府宮方面にひょっとして出口があるのかいうふうに勘違いをされるといけないので、弊社としてはどうしても譲れないところでございます。

（加藤副会長）

そうだとすると、ちょっと案内が必要かなと思います。

あと追車の話が出たんですけど、9ページの現状の課題ってところに書いてありますけど、正直言ってまずここ現状の課題と対応方針が全然

対応していないと。追車があるんで追車をなくすとかそういうのは、一応車両が大きいサクラルート推奨っていうのはあるんですけど、それだけで追車がなくなるとちょっと考えにくいので、僕の中では追車してるのは現状でそういうことをやって、満員通過で乗れないとかそういうことがないようにしているっていうのは、もともと当初からあるんですね、追車は。それでサクラルートが広い道ばかり走るところということで、それを大きい車にしたということですけど、清須の特徴として、そういうところだけ走っていると利用が多く出ないと、細かく走った方がたくさん利用していただくとそういう矛盾があるので、やむを得ないんですけど、とすると追車せざるを得なくて、毎日のようにっていうとちょっとそれは増便したほうがいいんじゃないかとかそういうことになるんですけど、今だと、週に2、3回とかっていうその程度ということであつたら、何とか防げるということで他のところだったら次にしてくださいねっていうところもありますので、ずっとそれをやっているっていうのは、どっかに課題っていうより取組みの方で書いたほうがいいのかないと思いました。

あと現状の課題、9ページの新規利用者が増える中改善要望や利用ニーズに変化があることも想定されるっていうのは別に新規利用者が増えることと、改善要望ってあんまり関係ないと思うんですよ。

むしろ新規利用が増えるのは成果というというか、先ほどもつばめユニオンさんから話がありましたけど、新しい利用者が出てきてるのは結構こういうやつは、もう使う人が世代が上がって行って、下の世代は入ってこないっていうものが多い中で、新しい方も、或いは若い方とかも乗っていただけるとしたら、それは結構大きな成果だと思うんですよ。なんでそこはむしろ成果として考えた方がいいと思うし、逆に改善要望や理由ニーズについてはきちんと取っていくということなんで、これアンケート調査を今、それこそさっき議論したことですけど、あと利用してる方に調査するとかっていうことがあるとしたら、対応方針の方に書くことかなと思いましたので、ちょっと現状の課題としては違うと思いました。

あと、ちょっと見にくいなと思ったのが、以前からそうだったと思うんですけど、6、7ページ、これオレンジ、グリーン、サクラ、ブルーのそれぞれの人数と考察があるんですけど、これ隣の方がいいよね。いちいちこう上見て下見てってやらなきゃいけないんで、横に並んでた方がわかりやすいと思います。とすると、どうなるかっていうと、7ページの総利用者数はっていうのが矢印の下にあるんですけど、総利用者数は6ページの方で書いてあるということなので、6ページの方に総利用者数をまず書いて、この矢印の下の2行をシフトすると、利用者数の各ルートの利用者数は、考察の左側に入れて、もうすぐ見られるようにすると、かつ一番最後の考察はそのまま残す。そういうレイアウトの方が、わかりやすいかなと思いました。

ただ弱点は全体に対して、オレンジ、グリーン、サクラ、ブルーのものと、その全体に比べて上回ってるか下回ってるかってのがわかりにくいってことですけど、それは同じように、上と下でこの列がそろってるように書けば解消できるということなんでそういうふうに工夫されて

やられたらどうかなと思いました。

実は右側のグラフももっと大きく見せた方がいいと思うんですけど、今のままだとこれだけしか取れないので、これちょっと今の僕の提案だと、このグラフが下へきて大きくできるんで、これも実際は全体のものにするんで、これはきちんと見て、このところコロナ禍と比べてもそうだし、全体的にいい感じで増えてますというのが見て取れるということは思いますので、そこも修正された方がいいかなと思いました。

ちなみに横に考察と利用者数並べることで、考察中に何%増とか書いてあるものを削るんでちょっと字数が減らせます。左右で見れるのすぐわかる。

あとすいません4-2ですけど、今日いろいろ増減の理由についてコメントが出たんで、それについてここに書いてなかった部分は加えてくださいということと、あと湯吉郎が商業施設っていうふうに書いてあって、ちょっと違和感があったかと、商業施設は食品とかそういうので、広義の商業施設かもしれないんですけど、温浴施設とかそういうので別にいいんじゃないかなと思いました。温浴施設と言えば、やっぱり公共交通こういうバスとか相性がいいものなので、温浴施設が休業してるんで、利用が大きく減ったというのは納得できると。4-3の7ページも商業施設と書いてあるので、ちょっとやっぱり湯吉郎は商業施設と言われたときにあまり想像はしないのかなと思います。

(鬼頭委員)

鬼頭です。

サクラルートのポンチョが、最近代車が多いんでね。あれ大きなトラブルあったんですか。それが質問の1つです。

それから2つ目は目的地が西枇杷島会館から変わりましたよね。変わった後から入れた声はかなりドスのきいた声で車内アナウンスを聞いていると思うんですよね。たまたま別のバス会社、京王バスですけども、同じトーンで同じ声ですって新しいバス停という名前を入れて、アナウンスしてたんで、なんであんなふうになっちゃったのかなっていうのが、2つ目です。

(大島委員)

つばめ自動車の大島です。

サクラルートの車両なんですけど、最近非常に故障が多くて、ここを直して戻ってきたら、またしばらくしたら別の箇所が故障するというちょっと故障が多発しておりまして、今日も、実際サスペンションの方が調子が悪くなってしまったものですから、今修理に出しております。

それとあとアナウンスの件なんですけれども、実際アナウンスをしてた女性の方がもう年齢で引退されてしまったということなんです。全部を要するに切って切って、こことここをつなげていくのをパソコン上でできるそうなんですけど、新たにバス停名が変わったとこだけ新しい新人さんが録音してまして、全部を差し替えるとその費用の方が倍近くかかってしまうということで、今のところちょっと1部分だけ新人さんのアナウンスの部分でさせていただきます。

どうしてもやっぱり都合が悪いということであれば、清須市さんとも相談して進めて参りたいと思います。

（前田会長）

他にご質問の内容ですので、ここでお諮りいたします。本件に関しまして、事務局案の通り、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題を終わります。

3 その他

（前田会長）

以上で、本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。

慎重にご審議いただきありがとうございます。

ここからは、次第の「3 その他」に移ります。

事務局から報告事項がありましたらお願いします。

（市江主任）

事務局から1点ご連絡させていただきます。

本日ご協議事項でご承認いただきました確保維持管理事業の事業評価につきましては、先ほどいただきましたご指摘を踏まえて、修正した後、支局の方へ提出させていただきますのでよろしくお願い致します。

（前田会長）

最後に、この他のことで、何か委員の皆様からございますか。

（加藤副会長）

個人的なことで恐縮なんですけど、来週の金曜日24日ですけど、NHKのクローズアップ現代の時間で出演しまして、今までも3回出てくるんですけど、ちょっと名前忘れちゃったけど、これは鉄道の話でして、今この地域だと長良川鉄道がちょっとやばい。それから広見線は一応一段落したんですけど、利用が減ってるのは間違いないということで、名鉄さんにもこれからお世話になっていかなきゃいけないんで、頑張ってもらわなきゃいけないんですけど、ちょっとこの地域もそういうことがあって、NHKさんの方でその番組やるということで生放送出ますんで、もし興味があれば、19時30分ですが、あれネットでも後で追っかけて見られますので、またよろしければそんなこともやっております。

実はちょっとNHKも今いろいろ、実は昨日の午後にもちょっと東京で取材を受けていて、結構公共交通、今東京がすごく減便が多くて、やっぱり運転手を逆にたくさん雇っているんで、がさっと辞めることがあると。この会社が評判が悪くてこっちの方がいいってなると結構一気に抜

けることがありまして、そうすると対応できないんで、もう急に減便するとか、利用の少ないバスはやめちゃうとかっていうのが東京あたりだと、やめてもちょっと近いところに別の路線があったりするんで、いいと言えはいんですけど、やっぱりこれ続けていくとどんどん利便性が下がるんで、そういった取材も受けてるとか、最近では白タクとかの外国人向けの補助金、白タクとか、一時外免切替ということもあったんですけど、そういうのもNHKだけじゃなくて、いろんなところから取材を受けているんですが、鉄道は本当に清須の場合は恵まれてるといえるんですけど、もちろん今日JR東海交通事業の方もみえますので、あれをどういうふうに盛り上げるかとかそういうことも含めてここでは議論しなきゃ事だと思しますので、ぜひ今日の自己評価なんかだとそういうのも全然ないんで、これからそういったところも含め、議論できるといいなと、僕良く言ってるんですけど、名鉄の小さな駅をもっと利用を増やしていくとか、市内移動も名鉄でできるところはやるようにするとか、そういうことをやっぱりここで考えることをやれたらいいなということだと思います。

とりあえず、宣伝がてら今私が取材を受けてることとかを紹介しました。以上です。

(前田会長)

その他、よろしいでしょうか。

では、以後の進行は、事務局へとお返ししたいと思います。

よろしくお願いします。

4 閉会

(岩田係長)

それでは、これをもちまして、令和7年度第2回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。

本日はご出席いただき、ありがとうございました。

問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線3214
--------	----------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前田 繁一

署名委員 加藤 榮子

署名委員 鬼頭 恒雄